

平成 3 1 年度

福島成蹊中学校 1 期入試問題

理科・社会〔社会分野〕

平成 3 0 年 1 2 月 2 日（日）

時間 1 1 時 1 5 分～1 1 時 3 5 分（2 0 分間）

「はじめ」の合図があるまでは、この問題用紙の中を開いてはいけません。

注意事項

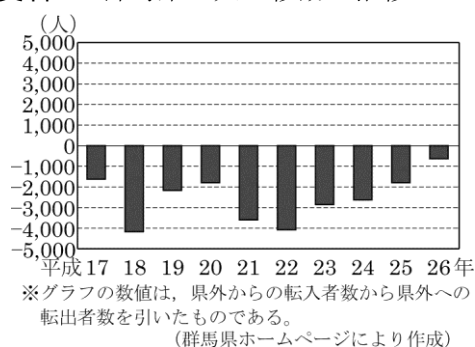
1. 問題用紙と解答用紙が配布されます。
2. 問題用紙は 1 ページから 8 ページまでです。
3. 問題は【1】から【5】までです。
4. 監督者の指示に従い、解答用紙の注意事項にそって必要事項を記入しなさい。
5. 解答は記述式です。最も適切な答えを解答用紙にていねいに記入しなさい。
6. 問題の内容についての質問は、一切応じません。それ以外のことがらについてたずねたいことがあれば、手をあげて監督者に聞きなさい。
7. 監督者の「はじめ」の合図で始め、「やめ」の合図ですぐやめなさい。
8. 定規を使用してもかまいません。ただし、計算機機能を有する機器は使用してはいけません。

【1】真緒さんは、群馬県の課題について調べたことを発表し、課題の解決に向けてクラスの人たちと話し合った。次の資料は、そのときに使用したものの一部である。後の問1～問5の問いに答えなさい。

群馬県の重要な課題の1つは、人口減少です。この原因としては、出生数より死亡数が多いことだけでなく、A ことなどが挙げられます。人口減少により、労働力不足や社会保障への影響などが心配されています。また、河川や火山が多い群馬県としては、(a)自然災害への対応なども課題です。

(b)上毛かるたには、「力あわせる二百万」という読み札があります。私たちが先人から受け継いできた豊かな自然や(c)文化遺産などを大切にしながら、力をあわせて課題の解決に取り組むことが必要です。

資料Ⅰ 群馬県の人口移動の推移

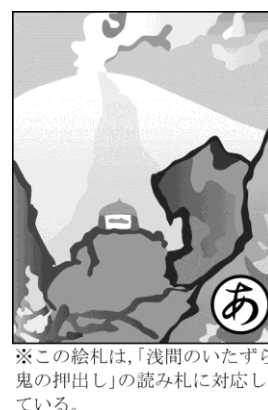


資料Ⅱ 自然災害に備えて作られた

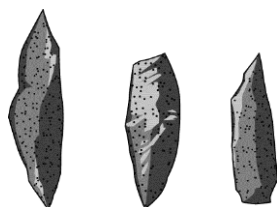
地図



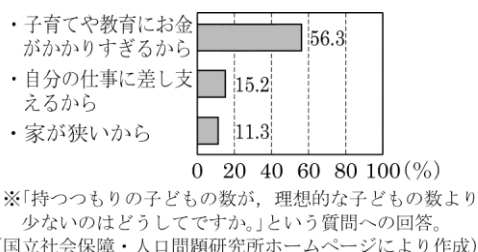
資料Ⅲ 上毛かるた



資料Ⅳ 岩宿遺跡から
発見された
道具



資料Ⅴ 理想の子ども数を持たない
理由



資料Ⅵ 考えたことを書いたふせん
を貼った紙

テーマ：子育て支援のための政策

(真緒さんの考え)
小学校や中学校の給食を無料にする。

(太郎さんの考え)
家族が住みやすい住宅を作り、住み替えをすすめる。

(あなたの考え)

問1 文中の A に当てはまる文を、資料Ⅰに着目して、あなたの考えを書きなさい。

問2 下線部(a)について、資料Ⅱのような、自治体などが自然災害の発生に備えて作成する地図を何というか、書きなさい。

問3 下線部(b)について、資料Ⅲに描かれた浅間山は、天明3年に大規模な噴火を起こした。この噴火が起きた時代を次のア～エから選びなさい。

ア 江戸時代 イ 奈良時代 ウ 明治時代 エ 鎌倉時代

問4 下線部(c)について、真緒さんは県内の文化遺産について調べたことを発表した。次の文はその一部である。()に当てはまる語を書きなさい。

岩宿遺跡から資料Ⅳのような道具が発見されました。この発見によって、日本列島でも()時代に人類が生活していたことが、初めて証明されました。

問5 真緒さんたちは、資料Ⅴをもとに、子育て支援のための政策について話し合った。資料Ⅵは、その際に用いたものである。資料Ⅴにある3つの理由のうち、真緒さんや太郎さんが取り上げていない理由に着目し、その問題点を解決するための政策を考えて書きなさい。

【2】Yさんは夏休みに、Yさんとその家族が見ていたドラマや映画の登場人物をテーマに調べ学習を行い、登場人物にかかわるおもなできごとを、A～Dの資料にまとめた。これについて、後の問1～問5の問いに答えなさい。

A 祖母が中学生のときに見ていたドラマの登場人物…平清盛

- ・源氏との戦いに勝利し、武士としてはじめて太政大臣となった。
- ・①日宋貿易の利益に注目し、瀬戸内海の航路をととのえ、港を整備した。
- ・娘を天皇の^{きさき}后にするなど、朝廷との関係を深めた。



問1 下線部①に関して、古代から日本と中国とのあいだでは、貿易や文化などの交流が行われていた。次のあ～うは日本と中国のつながりについて述べたものである。あ～うのできごとについて、年代の古い順に並べたものを、下の1～4から一つ選び、記号で答えなさい。

あ 漢字を変形したかな文字を用いて、紀貫之らが『古今和歌集』を編集した。

い 中国の唐にわたった最澄と空海は、仏教の新しい宗派を日本に伝えた。

う 遣隋使として小野妹子らが隋に派遣され、中国の進んだ制度や文化を取り入れた。

- 1 い→あ→う 2 い→う→あ 3 う→あ→い 4 う→い→あ

問2 Yさんの祖母が中学生だったころ、テレビをはじめとして洗濯機や冷蔵庫などの家庭電化製品が普及した。この背景となった、1950年代半ばから1973年までに、日本経済が大きく発展したことを何というか。答えなさい。

B 父が中学生のときに見ていたドラマの登場人物…豊臣秀吉

- ・織田信長のあとを継ぎ、朝廷から関白に任じられ、その権威を背景として全国統一を完成させた。
- ・太閤検地や②刀狩を行い、身分制社会の土台をつくった。
- ・③桃山文化の代表的建築物である、壮大な天守閣をもつ大阪城を築いた。



問3 下線部②について、秀吉が刀狩を行った目的を、「一揆」と「耕作」という二つの語を用いて簡潔に述べなさい。

問4 下線部③の文化の内容について述べた文として最も適切なものを、次の1～4から選び、記号で答えなさい。

- 1 運慶らが、東大寺南大門の金剛力士像を制作した。
- 2 千利休が、質素なわび茶の作法を完成させた。
- 3 本居宣長が、『古事記伝』をあらわし、国学を大成した。
- 4 足利義政が、京都の東山に銀閣を建てた。

C 私が見ていたドラマの登場人物…吉田松陰

- ・ペリーが来航したとき、アメリカに密航しようとして投獄された。
- ・松下村塾において、高杉晋作ら多くの人材を育成した。
- ・④日米修好通商条約を朝廷の許可なく結んだ幕府を批判したことから、安政の大獄によって弾圧された。



問5 下線部④について、日米修好通商条約は日本にとって不平等な内容を二つ含んでいた。この二つの内容について説明しなさい。

【3】次の文は、長野県について学習したときの、まさるさんと先生との会話です。これを見て、後の問1～問3の問いに答えなさい。

まさる：地図を見てみると、長野県は①多くの県と接していることがわかります。

先生：そうですね。中央高地に位置し、地形や気候などに特徴があります。

まさる：農業は、自然の特徴をいかして、②野菜や③果樹の生産がさかんです。

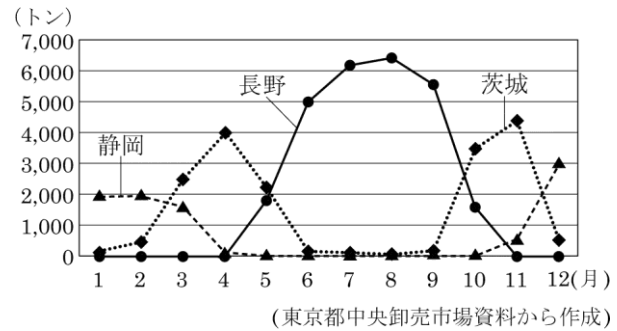
先生：農業だけでなく、観光も重要な産業ですね。

まさる：さまざまな観光地があって、一年を通じて多くの観光客が訪れています。訪問先ごとの④観光客数を調べて、長野県の観光の特徴をまとめたいと思います。

問1 下線部①について、右の略地図は、長野県を中心に描いたものです。略地図中のア～エで示した県のうち、県名と県庁所在地の都市名が異なるものはどれですか。一つ選び、その記号を書きなさい。また、その県庁所在地の都市名を書きなさい。

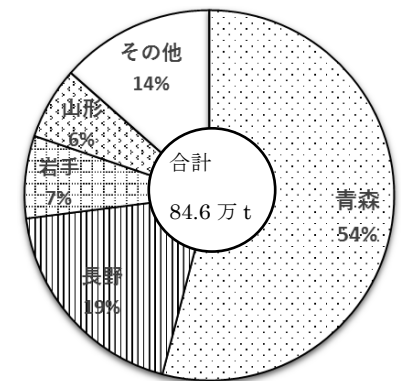


問2 下線部②について、右のグラフは、2015年の長野県、茨城県、静岡県で生産されたレタスの東京都への月別出荷量を表したものです。次のア～エのうち、他産地の出荷量が少なくなる時期に、長野県のレタスの出荷量が多くなる理由について正しく述べているものはどれですか。一つ選び、その記号を書きなさい。



- ア 冬の温暖な気候を利用した促成栽培を行っているため。
- イ 冬の温暖な気候を利用した抑制栽培を行っているため。
- ウ 夏の冷涼な気候を利用した促成栽培を行っているため。
- エ 夏の冷涼な気候を利用した抑制栽培を行っているため。

問3 下線部③について、右のグラフは長野県が収穫量第2位の果物である。この果物の名前を答えなさい。



問4 下線部④について、次の表は、まさるさんが2013年の長野県、東京都、京都府、沖縄県の観光施設、山や海などの観光拠点、歴史的建造物などを訪れた人数をまとめたものです。表中のア～エのうち、長野県にあてはまるものはどれですか。一つ選び、その記号を書きなさい。

単位：千人

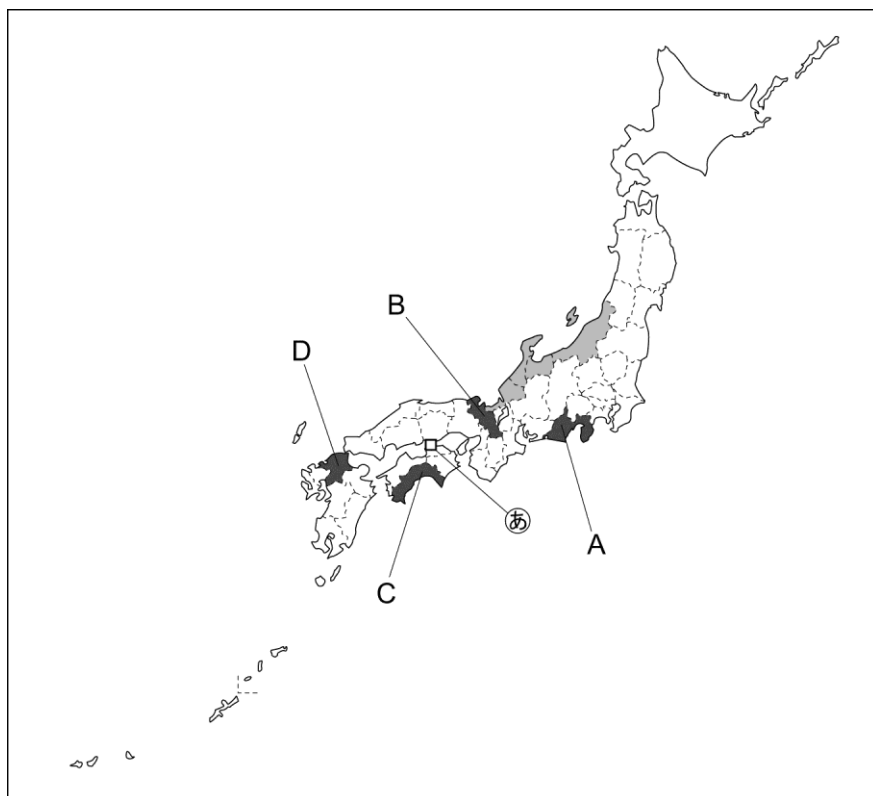
区分	自然	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	歴史・文化	都市型観光	その他	
おもな内容	山 高原 海	温泉 温泉以外の 入浴施設	ゴルフ場、スキー場 海水浴場、キャンプ場 遊園地、テーマパーク	城、寺 博物館 美術館 動物園	ショッピング モール アウトレット ショップ	道の駅 高速道路のサービスエリアやパーキングエリア	合計
ア	380	7,608	67,857	61,114	734,701	159,686	1,031,346
イ	1,098	2,088	7,453	58,160	1,119	2,196	72,114
ウ	10,281	14,495	11,688	17,038	8,996	4,226	66,724
エ	5,545	417	8,038	11,522	3,136	3,302	31,960

(国土交通省資料から作成)

【４】 次の図や資料を読み取り，後の問１～問３の問いに答えなさい。

問１ 次の略地図を見て，下の(1)～(2)の問いに答えよ。

略地図



(1) 次の資料Ⅰは，我が国の2014年における茶の生産量に占める各都道府県の割合を表したものである。資料中の

X

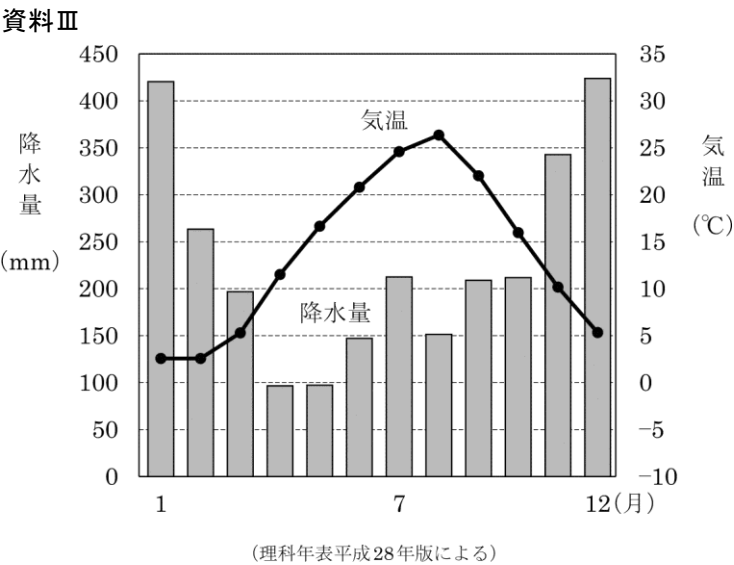
 に当てはまる都道府県を，略地図中の で示したA～Dから一つ選び，その記号を書け。

資料Ⅰ



（データでみる県勢2016年版による）

(2) 次の資料Ⅲは、略地図中の  で示した北陸地方のある都市の気温と降水量を表したグラフであり、北陸地方の気候の特色を示している。北陸地方では、地場産業として輪島塗や小千谷ちぢみなどの製造が行われているが、これらは農業の副業から発達してきたものである。北陸地方で、輪島塗や小千谷ちぢみなどの製造が農業の副業として行われるようになった理由を、資料Ⅲからわかる北陸地方の冬の自然環境と関連付けて、簡潔に書け。



問2 次の資料Ⅳは、米、肉類、魚介類について、1970年と2010年の我が国の国内生産量、輸入量、自給率、1人1日あたり供給量を表したものである。この資料から読み取れることについて述べた文として正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書け。

資料Ⅳ

	米		肉類		魚介類	
	1970年	2010年	1970年	2010年	1970年	2010年
国内生産量(千t)	12 689	8 554	1 570	3 211	8 794	4 782
輸入量(千t)	15	831	205	2 596	745	4 841
自給率(%)	106	97	89	56	102	55
1人1日あたり供給量 (g)	260.4	163.0	33.3	79.7	86.5	80.6

(数字でみる日本の100年改訂第6版による)

- ア 1970年と2010年の国内生産量を米、肉類、魚介類ごとに比べると、米、肉類、魚介類いずれも1970年より2010年の方が少ない。
- イ 米、肉類、魚介類の輸入量をそれぞれみると、1970年は魚介類が最も多いが、2010年は魚介類が最も少ない。
- ウ 米、肉類、魚介類の自給率をそれぞれみると、米、肉類、魚介類いずれも2010年は100%を超えていないが、1970年はすべてが100%を超えている。
- エ 1970年と2010年の1人1日あたり供給量を米、肉類、魚介類ごとに比べると、2010年が1970年の2倍以上になっているのは肉類のみである。

問3 ひかるさんは、中部地方について学習した。次の(1)から(2)の問いに答えなさい。

- (1) ひかるさんは、図1に示した四つの都市について、それぞれの降水量を図2にまとめた。A市は、図1のア、イ、ウ、エのどれか。

図1

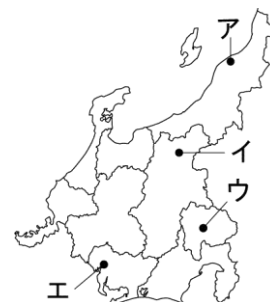


図2

	A市	B市	C市	D市
6月～8月の月平均降水量	153.5	177.0	134.9	113.8
12月～2月の月平均降水量	175.3	53.0	39.5	48.8
年降水量(mm)	1821.0	1535.3	1135.2	932.7

(「気象庁ホームページ」により作成)

- (2) ひかるさんは、富山県にアルミ産業が根付いていることを知り、その背景を示す図5、図6、図7の資料を用意した。アルミ産業が富山県に根付いた理由を図5、図6、図7からわかることにふれ、簡潔に書きなさい。

図5

- ・鉄1トンの生産に10～80kWhの電力が必要である。
- ・アルミ1トンの生産に約15000kWhの電力が必要である。

図7

- ・富山県は古くから銅器の加工技術が高い地域であった。
- ・銅とアルミの加工技術には共通した部分が多い。

図6

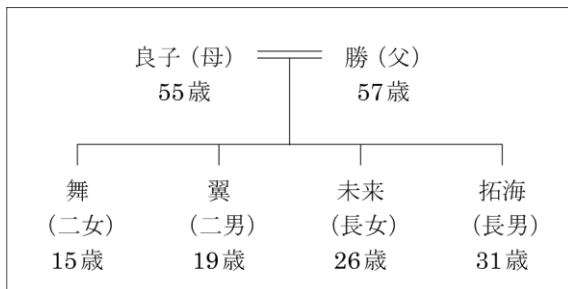
	東北電力	北陸電力	関西電力	九州電力	全国平均
1957年度の電力価格(円/kWh)	3.8	2.8	4.6	4.6	4.1

(「北陸経済研究所1983」により作成) 栃木03

【5】 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 図は、舞さんの家族の構成と、家族それぞれの2017年3月7日現在の年齢を示したものです。これを見て、次の文の **a** , **b** に当てはまる数字をそれぞれ書きなさい。

図



2017年3月12日に国会議員を選ぶ選挙が行われるとした場合、舞さんの家族の中で選挙権が認められる人数は **a** 人であり、衆議院議員の被選挙権が認められる人数は4人、参議院議員の被選挙権が認められる人数は **b** 人である。

- (2) 次の文の **a** , **b** に当てはまる語句を、それぞれ漢字1字で書きなさい。

一般に、内閣を組織して政権を担当する政党を **a** 党といい、政権を担当しない政党を **b** 党という。

- (3) 右の新聞記事は2018年10月16日の朝日新聞の一面に掲載された記事である。記事の空欄に当てはまる語句を答えなさい。なお、空欄には同じ言葉が入る。

安倍晋三首相は15日の臨時閣議で、来年10月の 率10%への引き上げに備え、景気の落ち込みを防ぐ経済対策の策定や軽減税率の準備を進めるよう指示した。増税まで1年を切り、事業者などの準備を加速させる狙いがある。来年度と再来年度の予算案に対策を盛り込む。

▼2面Ⅱ進まぬ準備、12面Ⅱ社説

来年10月増税へ対策加速

首相、10%へ指示

■首相が指示した主な消費増税対策

- ◆幼児教育の無償化
- ◆飲食料品などの税率を8%に据え置く軽減税率の導入
- ◆中小の小売業で一定期間のポイント還元
- ◆自動車や住宅購入などに関する税負担の軽減
- ◆防災・減災、国土強靱化のための緊急対策